



ふれあい 放水路

1994
(平成6年)
第3号
6月



生まれ変わった

馬木北地区

馬木北地区は、斐伊川放水路事業による神戸川の改修工事にもなつて家屋の移転が必要となつたところです。

この地区は、出雲市第一号の景観形成地区の指定も受けて、土地区画整理事業を実施しており、地元住民のみなさんの意見を取り入れた街づくりが行われました。

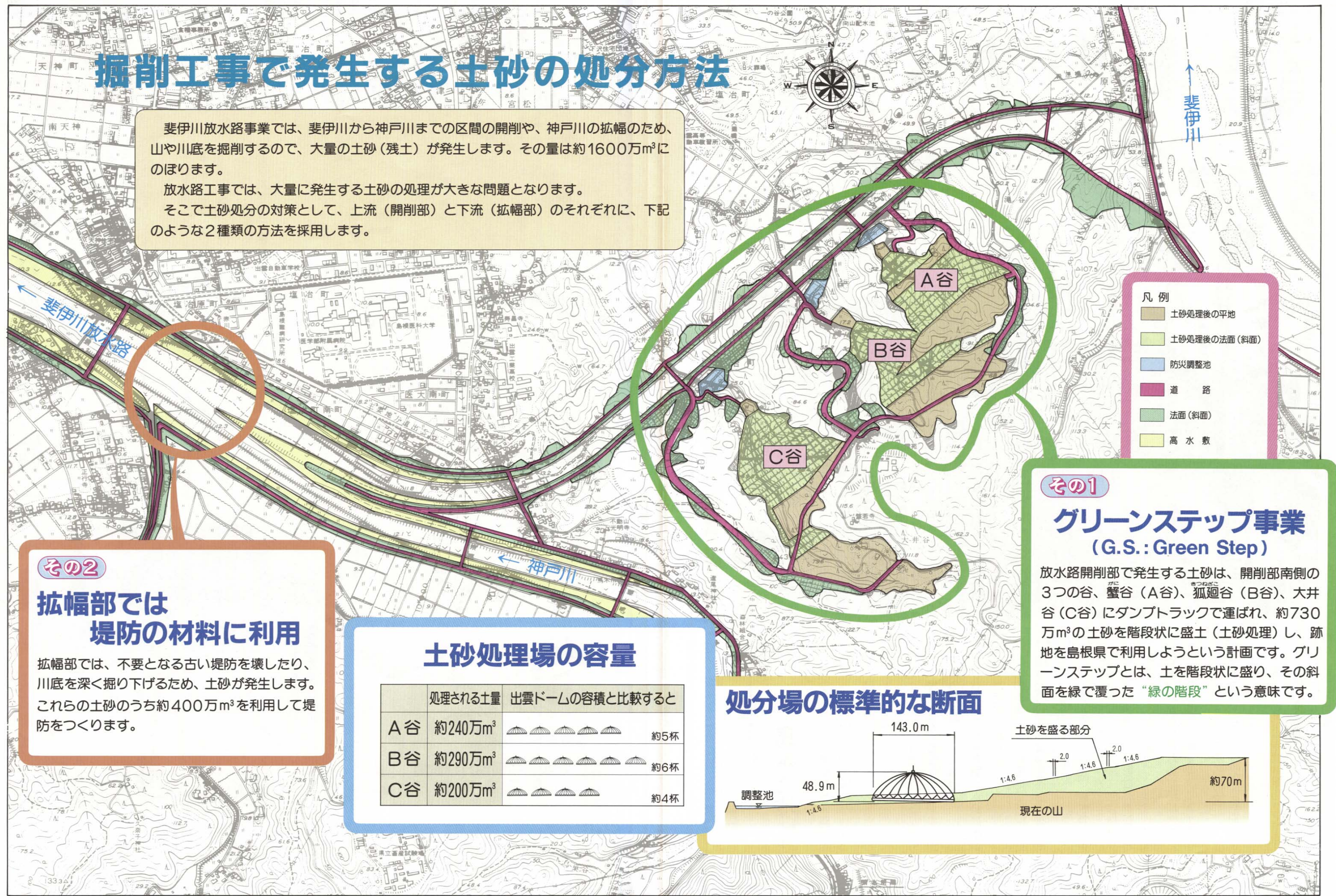
この事業は、代替宅地の確保、堤防などの公共施設の整備改善を図る目的で実施されたもので、現在では、上の写真のように、洪水の危険をなくすために街全体の土地を高くし、建物の高さ・色彩など景観にも配慮したことによって、堤防と一体となつた美しい街なみが形成されています。また、新しくつくつた堤防の上には、地元の方々によって六十三本の桜の若木が植樹されています。

(なお、右下の写真は堤防が高くなる前の風景です。)

掘削工事で発生する土砂の処分方法

斐伊川放水路事業では、斐伊川から神戸川までの区間の開削や、神戸川の拡幅のため、山や川底を掘削するので、大量の土砂(残土)が発生します。その量は約1600万m³にのぼります。

放水路工事では、大量に発生する土砂の処理が大きな問題となります。そこで土砂処分の対策として、上流(開削部)と下流(拡幅部)のそれぞれに、下記のような2種類の方法を採用します。



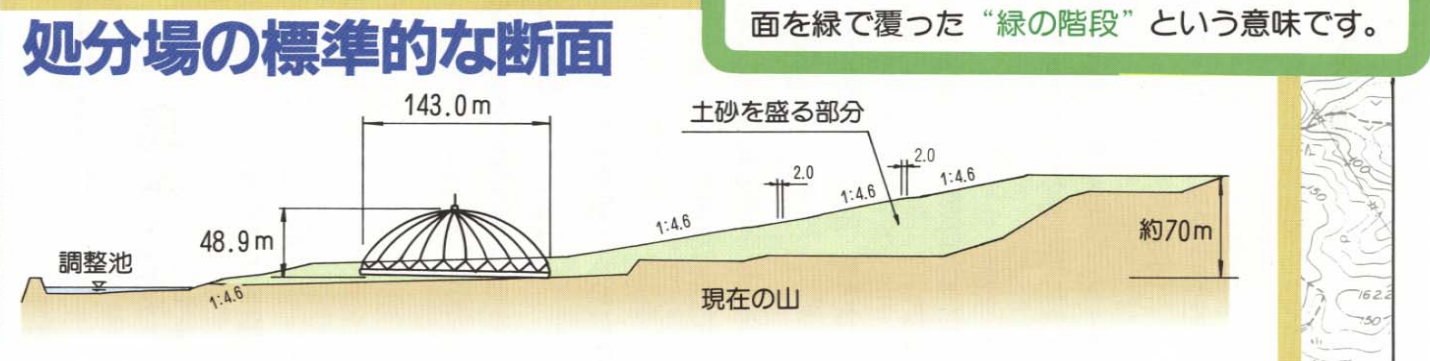
- 凡例
- 土砂処理後の平地
 - 土砂処理後の法面(斜面)
 - 防災調整池
 - 道路
 - 法面(斜面)
 - 高水敷

その2
拡幅部では堤防の材料に利用
 拡幅部では、不要となる古い堤防を壊したり、川底を深く掘り下げるため、土砂が発生します。これらの土砂のうち約400万m³を利用して堤防をつくります。

土砂処理場の容量

	処理される土量	出雲ドームの容積と比較すると
A谷	約240万m ³	約5杯
B谷	約290万m ³	約6杯
C谷	約200万m ³	約4杯

その1
グリーンステップ事業 (G.S.: Green Step)
 放水路開削部で発生する土砂は、開削部南側の3つの谷、蟹谷(A谷)、狐廻谷(B谷)、大井谷(C谷)にダンプトラックで運ばれ、約730万m³の土砂を階段状に盛土(土砂処理)し、跡地を島根県で利用しようという計画です。グリーンステップとは、土を階段状に盛り、その斜面を緑で覆った“緑の階段”という意味です。



工事情報 コーナー

大島・神門地区軟弱地盤改良工事について

現在、境橋（左岸）の上下流、大島・神門地区において軟弱地盤改良工事を行っています。

この周辺の地盤はやわらかく、堤防をつくることにより、その重さで地盤が沈むことが心配されます。

その影響を周辺部まで及ぼさないための工法は種々ありますが、この地区では、セメント系深層混合処理工法（CDM工法）を採用しています。このCDM工法は、堤防と民地との間の地中にセメントを混入したコンクリート壁のようなものをつくります。

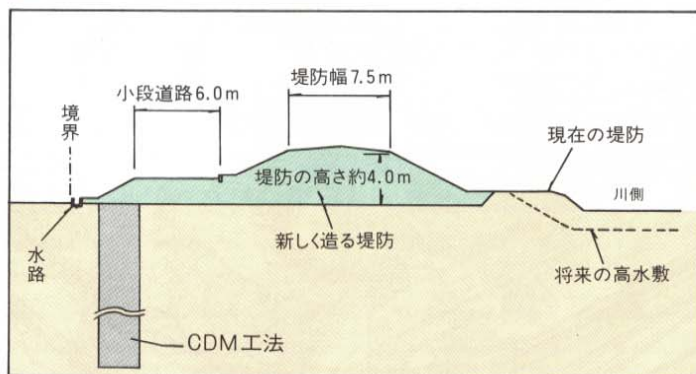
工事の範囲は、図の区間について、大島地区延長約二四〇m、神門地区延長約三三〇mを行います。

軟弱地盤改良工事について詳しくはまたの機会にご紹介したいと思います。

工事箇所



地盤改良部の断面図



「懐しいあの頃」

昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しする際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



**建設省中国地方建設局
出雲工事事務所**
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本紙に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当

このような機械で土中にセメントを混入させてコンクリートの柱をつくります。
(柱を堤防沿に連ねて壁にします。)



7/1▶31 河川愛護月間
水辺にやすらぎ 心にゆとり